

相談してみませんか？認知症のこと

「認知症かもしれない」「あれ、なにか変だな」と思っている、「どこに何を相談したらよいのかわからない」「まだ大丈夫」と相談を先延ばしにいませんか？

ご自身やご家族の認知症の心配ごとを誰かに話すのは、とても勇気がいることです。おひとりで抱え込むのではなく、今のご自身の心配ごとや思いを誰かに話をするだけで、気持ちが楽になると思います。

認知症が疑われた時、あるいは認知症と診断された時は、早い段階で相談先を見つけましょう。

認知症は早期発見、早期対応が大切な病気です



1. 症状が軽い段階から、準備をすることができます。

ご本人やご家族が、医師や専門職等と相談をしながら認知症の症状と向き合い話し合うことで、介護保険サービスの利用など、日常生活を維持する準備をご本人の意向をもとに考えることは重要です。

2. 治療により改善する場合やよく似た症状の病気があります。

正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、うつ病によるものなど、認知症の原因となっている病気が早期にわかれば、治療により改善可能な場合もあります。

3. 進行を穏やかにすることが可能な場合があります。

早い時期からの治療開始が効果的といわれています。生活習慣病の予防が進行予防につながります。

認知症の相談先



清田区第1地域包括支援センター 電話：888-1717

北野1条1丁目6番28号 緑愛園内



清田区役所 保健支援係

電話：889-2042

平岡1条1丁目2番1号 1階



清田区介護予防センター北野・平岡 電話：885-1230

北野7条4丁目8番25号 清幌園内

清田区福祉のまち推進センター 電話：885-0294（月・水・金の午後）

北野4条2丁目8番28号 北野連合会館内

※認知症の診断や治療は、かかりつけ医に相談し、必要時に専門医を紹介してもらいましょう。



自分で行える！
ご家族と一緒にできる！

認知症早期発見 チェックリスト

認知症かな？と心配に思ったら、チェックリストの質問をチェックしてみましょう。
予防の手助けにつながるかもしれません。

出典：愛知県・国立長寿医療研究センター作成認知症チェックリスト



チェック項目

	同じことを話したり聞いたりする	
	物の名前が出てこなくなった	
	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた	
	以前はあった関心や興味が失われた	
	だらしくなった	
	日課をしなくなった	
	時間や場所の感覚が不確かになった	
	慣れた所で道に迷った	
	財布などを盗まれたという	
	ささいなことで怒りっぽくなった	
	蛇口・ガス栓の締め忘れ火の用心ができなくなった	
	複雑なテレビドラマが理解できない	
	夜中に急に起きだして騒いだ	

※チェック項目はあくまで目安です。認知症の診断をするものではありません。

3つ以上当てはまった方は、まずはご相談ください。

清田区第1地域包括支援センターは、高齢者やその家族を
支援するための相談窓口です。
(☎ 888-1717)

